

トップジンMオイルペースト剤を利用した リンゴ腐らん病の簡易な治療法

研究のねらい

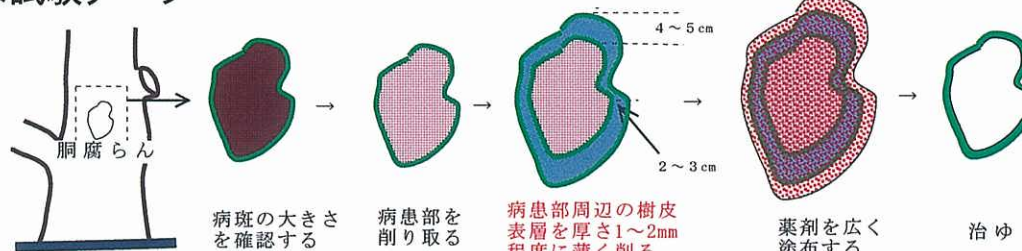
主幹や主枝、垂主枝等の大枝に発生する胴腐らんをより簡便な方法で治療するために、浸透性の高いトップジンMオイルペースト剤の効率的な利用法を確立する。

研究の成果

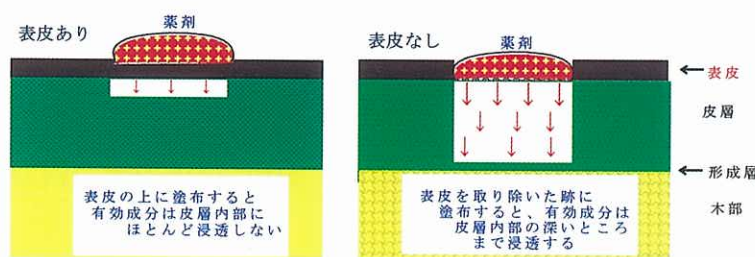
トップジンMオイルペースト剤は病患部の簡便な削り取りで、高い治療効果を示した。本剤の浸透性は表皮の有無によって強く影響されるため、病患部周辺の健全な樹皮表層の軽い削り取りとの組み合わせが重要であった。

治療に要する時間は、有機銅塗布剤などを利用した従来の削り取り法に比べ、3～4割程度短縮できると考えられた。

主要な試験データ



第1図 具体的な作業手順



第2図 表皮の有無と薬剤の浸透性



治療1年後

発表資料

1. 青森りんご試 (1998). チオファネートメチルオイルペースト剤を利用したリンゴ腐らん病の簡易な治療法. 平成9年度東北地域新しい技術シリーズ (農水省東北農試編) : 24.
2. 病虫肥料部 (1998). りんご腐らん病のチオファネートメチルオイルペースト剤 (トップジンMオイルペースト) 利用による簡易な治療法. 平成10年度指導奨励事項・指導参考資料等 : 4-5.
3. 雪田金助 (1997). リンゴ腐らん病の胴腐らんに対するチオファネートメチルオイルペースト剤の治療効果. 北日本病虫研報 48 : 141-144.